

## 平成30年度 第3回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	平成30年12月26日（水） 10:00~11:25
場所	豊橋市中央図書館 会議室
委員	出席定数11名 うち9名出席
事務局	豊橋市教育委員会 教育部長 図書館9名 都市計画部まちなか図書館整備推進室2名
議事	議題 ・豊橋市図書館基本構想（案）について
配布資料	・豊橋市図書館基本構想（案）について

### <議事概要>

#### 議題

##### (1) 豊橋市図書館基本構想（案）について

###### 【議長】

議題（1）「豊橋市図書館基本構想中間報告（案）について」ですが、本議題は今後、豊橋市及び市議会等において、調整・検討を要する意思形成過程の案件であるため、非公開として行いたいと思いますが、ご異議はございませんか。

###### 【委員】

異議なし

###### 【議長】

異議ございませんので非公開で行います。

事務局より、配布資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

###### 【委員】

市民意識調査結果のうち、限られた経費の中で重点的に実施すべき施策に関する回答で一番い意見が、近くで図書の貸出・返却ができる拠点の拡大とあった。分室が多いという特色がある一方で、図書館ネットワークにつながっていない非ネットワーク館が多数を占めていることから、これらの充実が必要になるのでは。

###### (事務局)

基本施策3-1 サービス基盤の充実においてお示ししていますように、人口動向や利用状況を踏まえた新たなネットワーク館の充実・強化に取り組んでいきたいと考えております。

**【委員】**

まちなか図書館も素晴らしいも構想とは思いますが、分室の充実についてもしっかりと取り組んでいただきたい。

**【委員】**

[Redacted text]

**(事務局)**

[Redacted text]

**【委員】**

質問ではなく意見として発言するが、館長の外部登用の必要性について理解できない点がある。マネジメント力や企画力などは行政職員としても必要なスキルであり、なぜ外部登用にこだわるのか分からない。

**【委員】**

館長の外部登用について、検討しなければならない理由や必要性が不明確なままであると思われる。まちなか図書館の運営にあたり館長を外部登用する必要があるのか。また、館長の外部登用を検討することになれば、どなたが審査するのかといった点も気になる。

**(事務局)**

まちなか図書館長の外部登用や運営のあり方などの考え方につきましては、まちなか図書館の実施計画において説明をさせていただいております。

また、館長の外部登用につきましては、職員の採用になりますので、市職員の採用の手続きに従って決定をしていきたいと考えております。

**【委員】**

まちなか図書館の館長ということであれば、完成後に来てもらうのではなく、準備段階から携わってもらう必要があると考える。また、人材を選ぶのであれば慎重に時間をかけて進めるべきと感じた。

**【委員】**

まちなか図書館の館長だけを外部登用するのであれば理解できるが、図書館全体の館長を外部登用することは難しいものと感じた。

**【委員】**

図書館基本構想を読んで、まちなか図書館を含む図書館全体で新たな取り組みをしていこうとする姿勢が見えてきて期待している。また、様々な取り組みが書かれているが、どれをとっても人が関わっていくことなので、これらの取り組みを進めていくには館長だけでなく、専門性を持った人材を幅広く育成することや登用することが重要になると感じた。

**【委員】**

図書館基本構想をすべて行うのであれば、いろいろな面で予算が必要になる。新たな財源の確保について図書館ではどのような取り組みを行っているのか。

**(事務局)**

図書館サポーター広告事業を行っており、広告費を市の歳入に入れるのではなく、必要とする物品そのものを納めていただくといった取り組みを行っています。

**【委員】**

図書館基本構想を読んで、人口減少や財政難という状況もあるが全体的に少し夢が足りないと感じた。また、市民意識調査結果で半数の方が一年に一度も図書館を利用していないという結果になったが、こういった方々をいかにして図書館に呼び込むのかといった点ももう少し書いてほしかった。

**(まちなか図書館整備推進室)**

まちなかでアンケートをした際にいろいろとお話を聞くケースがあったが、書店は行くけど図書館は行かないという意見が多くあった。具体的には、書店は棚が面白く魅力的であるが、図書館は十進分類といった管理しやすい並べ方をしていることで本を探す楽しみを感じられないといった意見であった。図書館は目的の本を探しに来るだけでなく、図書館に来ると新たな発見があるといった魅力を持たせる必要があるのかもしれない。

**【委員】**

中高生の利用状況が少ないといったデータがあるが、学習室の利用者は中高生が圧倒的に多いのでは。あまり本の貸出にこだわらず、学習環境を整備することでゆくゆくは図書館ユーザーになってもらえる層に働きかけるべきではないのか。

**【委員】**

自動貸出機の導入や自動化書庫の導入など、費用は掛かるかもしれないが必要とする最先端の機能を導入するといった方針を具体的に記載してはどうか。

**【委員】**

第4章の各表中にある中央、まちなか、分館、分室のそれぞれの○、◎の位置付けが分かりにくい。また、取組内容によっては、◎とすべきであるようなものも見受けられたので再考願いたい。

**(事務局)**

◎は重点的に実施する館を示しているが、分かりやすいように凡例を追記します。また、取組項目ごとの○、◎の位置づけについても再度見直しを図っていきます。

**【委員】**

[Redacted content]